

解 答



問一 I オ II エ

問二 音をきく意識的な訓練をしていないから。

問三 生命の鼓動そのもの

問四 秋が深まっていくにつれて、虫の声がにぎやかになっていく様子。

問五 ア

問六 ウ

問七 ケラが鳴く音

問八 この世のものとは思えないほど優雅でデリケートな姿をしているのだろうという自分のイメージを大切にしたいから。

問九 優雅な楽しみ

問十 ウ



問一 ㊦ 緊張 ㊧ けわ ㊨ あら ㊩ 評判 ㊪ 無防備

問二 [いつもとは異なっていて、] 正門をとりまくようにする大勢の人ばかり [が目の前にあったから。]

問三 白い割烹着を着たおばさんたちの集団。

問四 I ウ II オ III ア IV エ V イ

問五 ア

問六 よそのもの・イ

問七 弟は靴

問八 学校では東京もんという引け目から無口だった自分が、疎外感を強く意識したことで、たいして親しくもない直道に自分の心をさらけだしてしまったから。

問九 [直道は東京もんの「僕」に対して、] 本心をかくさなかった [から。]

問十 オ